

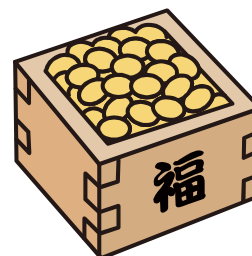
神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 171号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年2月号

【 今月のコンテンツ 】



- 神奈川イグレンご案内 1
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）のレポート 2
- 「劣化した映画フィルムに対応できるデジタル化装置」 3
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 4、5、6、7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

テクニカルショウヨコハマ 2017（第 38 回工業技術見本市）開催

イグレン広報：宗和

平成 29 年 2 月 1 日(水)～3 日(金)の 3 日間、パシフィコ横浜展示ホール C・D にて神奈川県下最大級の工業技術・製品総合見本市であるテクニカルショウヨコハマ 2017 が今年も開催されました。

出店企業が 635 社（団体）で来場者数は 31,002 人。昨年が 28,289 人でしたので若干増加しました。

今年は「未来を開く新技術」をテーマに、「ビジネスソリューション」「生産（加工技術）」「生産（機器・装置・製品）」「環境・エネルギー／健康・医療・福祉」「産学公・企業間ネットワーク」の 5 つの分野を設け技術革新、商品開発に取り組んでいる企業が独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品や研究成果などの発表がありました。我らイグレンからは山勝電子工業（株）と、まんてんプロジェクトがこの見本市でセミナーを開催しました。会場を歩いていて特に気になったのが他県からの出店数。例年に比べ多かったように思います。中には日本の技術を吸収、自社開発すると共に先端技術を世界に売込むという戦略で参加をしていた中国系企業もありました。3D 技術も毎年かなりの勢いで進化をとげています。ここ最近、防犯、防災がニュースでも取り上げられているように人感センサー系列の展示も気になりました。健康・医療・福祉の分野で新たな商品も色々出ています。個人的に「ほーっ」と思ったのが体重を後ろに乗せると椅子になり力を抜くと歩くアシストをしてくれる商品。電動アシストではないのでお年を召した方にも優しいと感心しました。この様に益々特化した技術で差別化を図っていかうという企業の意気込みを感じました。

来年のテクニカルショウヨコハマ 2018 の開催期間は平成 30 年 2 月 7 日（水）～9 日（金）の予定です。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

イグレン事務局 松井利夫

第 48 回フォーラムは平成 29 年 1 月 24 日に開催。最初に、森さんから、トヨタが「TOYOTA NEXT (オープンイノベーションプログラム)」をスタートさせて新たなサービス案を公募していることに関して、その後、説明会が開かれたので行ってきたと報告。公募の理由は、新事業の良いアイデアを付合いのある企業や関連会社だけでなく中小企業や個人から幅広くアイデアを出してもらおうと考えた。将来の生きる道を考えるヒントにしたいとのことであった。

伊藤さんからは、3年前からアプローチしていたフィリピンによりやく河川・冠水警報装置を一台納入したので、昨年末その据付工事のため行ってきた。設置場所は橋桁ですが、据付部品の現地調達や作業の段取りが悪いため、日本なら 1 日で済む作業が 4 日も掛かってしまったとのこと。

荒川さんからは、PLC(危険通報通信システム)のその後について説明があった。その後、製品の改良を行い、用途も住宅だけでなく事務所や別荘でも使ってもらうようにした。2,3 カ月掛けて認証を取り夏過ぎに商品を出せる計画であるとのこと。

松井(隆)さんからは、高輝度蓄光製品についての説明があった。最近では、学校が災害発生時の避難場所となることが多いことから引き合いが来ているとのこと。



<スターリングエンジン> ウィキペディアより

スターリングエンジン (英: Stirling engine) とは、熱機関の形式のひとつで、シリンダー内のガス (もしくは空気等) を外部から加熱・冷却し、その体積の変化により仕事をを得る外燃機関である。熱交換をすることによってカルノーサイクルと同じ理論効率となる。スコットランドの牧師、ロバート・スターリングが 1816 年に発明し、名称はこれに由来する。

鶴野さんからは、スターリングエンジンの活動を始めることになったのは、平成 17 年の 11 月に英国の NPO Energy Saving Trust の“小出力発電の可能性についての調査研究報告書”をインターネットで見つけ英国におけるスターリングエンジンや燃料電池など小出力発電技術への取り組みを知り、衝撃を受けたことに始まるとのこと。EST 報告は月刊エネルギーのスターリングエンジン特集(平成 18 年 7 月号)に投稿し、その発刊に併せて三浦半島経済人サロン(横須賀サロン)でスターリングエンジンの発表を行う。このときイグレンのネットワークで参加者を呼び掛けて頂き、スターリングエンジンビジネス関係者との出会いを得た。その後、東芝や中小企業支援センターの支援を得て NPO 日本スターリングエンジン普及協会の設立に至った。

それから 10 年、お陰様でスターリングエンジンビジネスに明るい可能性が見えてきた。一つは Qnergy エンジン、二つ目は MOMOSE エンジンである。Qnergy エンジンは出力 8kw 弱と小出力ながら発電効率が 38%でガソリンやディーゼルエンジンをはるかに凌ぐ高性能・高効率エンジン、しかも摺動部に摩擦がないためメンテナンスフリーで耐用年数が 6 万時間以上と極めて高性能である。しかし、高性能であるがゆえにこのエンジンの性能を発揮する燃焼炉とエンジン加熱技術が難しく、ビジネスを展開していくためには熱源(燃料)の特性に応じた燃焼炉が必要であると考えている。そこでこのエンジンの燃焼炉・・・特にキノコ廃菌床と鶏糞の燃焼炉・・・の開発に取り組んでくれる企業を探しているとのことであった。

「劣化した映画フィルムに対応できるデジタル化装置」

イグレン広報：宗和

先月ご案内しました通り当イグレン議長である金究社長が率いる山勝電子工業株式会社が「劣化した映画フィルムに対応できるデジタル化装置」で第33回神奈川工業技術大賞においてビジネス賞を受賞されましたので話を伺ってまいりました。

この賞は県内に事業所を有する中堅・中小企業及びこれらの企業で構成するグループによっておおむね3年以内に開発されたものでその効果の実証されているものが対象となっています。産業の発展や国民の生活の向上に役立つものであると規定され、学識経験者及び各技術分野の専門家9名で構成された選考委員により精査されるというものです。

＜山勝電子工業株式会社 様 対談の様子＞

宗和：この度は第33回神奈川工業技術開発大賞においてビジネス賞を受賞されました。

まずはおめでとうございます。

金究：ありがとうございます。

宗和：今回、「劣化した映画フィルムに対応できるデジタル化装置」の開発で受賞となりました。映画フィルムに関して私なりに調べたところ、1890年代に35ミリフィルムが誕生して以来実に130年近く経つ様です。それだけの時間を経過すると流石に劣化することが想像できます。まずは開発するに至った経緯をお聞かせ頂けますか？

金究：当社は設立以来、研究開発型企業としてお客様の要望に応えるべく色々な事をやってきました。そのおかげで現在、年間数百点の受託開発を行っています。これはその中の1つです。十数年前に大手通信メーカー3社が寄り合いました。弊社はその中で画像圧縮部門についての開発を任されていたのです。これにより映画の配信システムが変わり今までの様な映写機が不要になる時代が来ると感じました。ただ、フィルムは時間とともに劣化をし、強度の低下、変形、収縮などが起きます。これにより貴重な芸術作品や文化財が失われていく……。この事を何とかしなくてはと思いました。

これが開発のきっかけです。

宗和：そもそもフィルムが劣化しているわけですから開発にご苦労も多かったのではなかろうかと思います。どのような点に苦労されましたか。

金究：はい、フィルムはご存知のように両端に穴が開いていてそれに爪を引っかけて送り出し映写機からスクリーンに投影するのが今までの方式です。でもこれだと穴が壊れていたり劣化しているとうまくいかないんです。そこでフィルムキャリア（注1）や回転ドラムにフィルムを吸着させコンピューター制御で送り込む機構を開発しました。フィルムを密着させる技術が特に難しかったですね。

宗和：それで肝心の画像はどうだったのですか。

金究：今回4Kの高画質画像データに変換したのですが驚きの結果でした。元々35ミリフィルムには細かいデータが入っています。今までは映写機を使って拡大してスクリーンにだしていたので分からなかったのですがフィルムを変換したところ、より鮮明に映し出されたのです。

宗和：4Kというと私達が日頃見ているフルハイビジョンテレビの約4倍の画素数ですね。それだと本当に鮮明に映るということですね。

金究：そうなんです。再生して一番驚いたのは、ある撮影された仏像のフィルムでした。普通だと見えないのですが4Kだと仏像の頭にハエが止まっているのが分かるんです。これには私も驚きました。その他、今まで原爆投下後の広島フィルムとされていたものが壁に描かれた文字からそこは長崎だったという事まで判明しました。

宗和：それは凄い。まさに歴史的発見ですね。既に色々なところから問い合わせがあるのではないですか。

金究：そうですね。一昨年、放送機器展というものにこの機械を出品したところすごい反響でした。今回この様なビジネス賞を頂いて多くのメディアから取材も頂いています。実際に官公庁やその他の機関などから多数問い合わせがあります。

宗和：この技術は今誰も手掛けていない分野ですので需要があるのは分かります。この先の展開や金究社長のお考えについてお聞かせ頂けますか。

金究：日本のみならず世界中に貴重なフィルムが残されていますので出来るだけ早く記録を残していきたいと思っています。ただ、今のところ機械そのものの販売は考えていません。これを管理する人がいないとだめですから・・・。企業である以上利益を出す必要はありますがお金ありきではなくフィルムの変換に関してはご相談させていただきながら進めています。まずは国内で貴重なものを掘り出していき、実績が出来てから海外へも目を向けて動きたいと考えています。

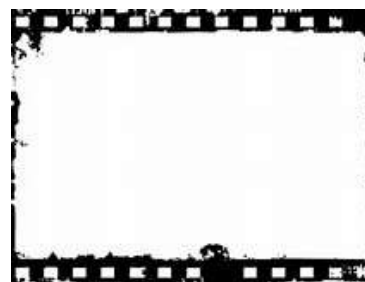
宗和：そうですか、商業映画の需要もこれから出てくるのでしょうか。

金究：おそらくそうなるだろうと思います。

宗和：今回、金究社長の話を伺って社会的意義のあるビジネスとして世の中に必要だと感じました。金究社長の熱い志にも触れることが出来ましたので伺って良かったと思います。本日は貴重なお時間を頂きどうもありがとうございました。

注1：フィルム キャリアとは、フィルムを挟んで引き伸ばし機にセットするためのホルダーの事。

今回、山勝電子工業（株）さんが受賞された4K技術の紹介ページ
http://www.navida.ne.jp/snavi/100207_1.html



縮んだり穴が壊れ劣化したフィルム

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【第179回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2017年2月22日(水) 午後3時30分～5時15分 協議会 その後交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）TEL：045-228-7331
3. 次第：
 - 会長挨拶：瀧澤 清氏
 - 会社紹介：株式会社バズージャパン 代表取締役 仲谷 的佐代氏
地域活性化の全国動画ポータルサイト『バズーTV』、検索に最適な貴社の動画付きWEBサイトで認知度&集客率UP！致します。
 - 老人介護の実態に関して コミネンコ総合研究所 代表 小峰直保子氏
 - 韓国中小企業技術指導事業に関して プラスアルファー事務所 代表 月岡泰夫氏
 - メイン講師：大島経営研究所 所長・経営学修士 大島 英雄氏
タイトル：日本貿易振興機構（ジェトロ）「2016年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」の報告
要旨：ジェトロは2016年10～11月（中国のみ9月）、北東アジア5カ国・地域、ASEAN9カ国、南西アジア4カ国、オセアニア2カ国の計20カ国・地域に進出する日系企業に対し、現地での活動実態に関するアンケート調査を実施した。結果報告する。

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

《20周年記念 ビジネス交流会》

有村 知里

今年20周年を迎えたことを記念し、1月27日にかがわ労働プラザにおいて70名もの参加者をお迎えしてビジネス交流会を開催いたしました。3部構成のうち、第一部は事前にお申込みいただいた10社からの5分間の事業プレゼンテーションを行いました。各社の個性あふれたコンパクトにまとめられた発表は、のちの懇親会などの交流を活発にしたようです。

第二部は、「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者、法政大学大学院政策創造研究科教授 坂本光司先生をお招きした記念講演会を開催いたしました。

「会社・事業を成功させる11のポイント～『日本でいちばん大切にしたい会社』の事例から学ぶ」と題して、これから事業を成長させたいと考えている企業・起業家は、どのようなポイントで行動し、経営すればよいのか。全国7,000社にも及ぶ企業調査もとに分析された事例をもとにお話いただきました。

例えば、小籠包で名高い「ディンタイフォン（鼎泰豊）」は日本人観光客が台北では必ず一度は訪れるほどの有名レストランです。私も台湾で数回以上訪問したことがあります。サービスも一流で素晴らしい味ですが、同じようなメニューを出す店もたくさんあるなかで、比較的高価格であるという印象がありました。

しかし、鼎泰豊では10人の人員で済むところを13人雇用しているそうです。また残業1人月平均0.5時間だけ、さらに身障者も従業員の4%ほど雇用しているそうです。コストや効率だけを追求してはできない経営です。それができるのは「人本経営」、即ち人間本位の経営だからです。そして「社会貢献経営」であり「感動経営」を目指しているからだと言えます。まただからこそ「非価格経営」であり「質志向経営」が可能なのだと、鼎泰豊の店舗運営について納得した次第です。

そのほか、先生は「年輪経営」「新市場創造経営」「バランス経営」「全員参加経営」など元気な会社の11の訳を説明してくださいました。

「下請け経営を脱皮するためにはどうしたらよいか」という会場の若手経営者からの質問に対して、業種に関わらず「企画開発」「製造」「販売」の3つの機能を備えていることが重要と話されました。但し、下請けだった会社が自社製品の比率を高めて50%以上にするには、平均して20年以上かかっているというデータもあるので、焦らずに日常業務をこなしながらも少しずつでも自社の機能を強化してくださいというお話に、参加者も納得した様子でした。

坂本先生の中小企業経営の適切な発展を願う熱い思いからの厳しく、しかし温かなお話は参加者の心に響き、名刺交換には長い行列ができたのも印象的でした。

第三部の懇親会では参加者全員に自己紹介をしていただき、多くの交流が生まれました。

大勢の方にご参加いただき、有意義な時間となったことに改めて感謝申し上げます。

この20周年記念交流会を一つの通過点です。「ビジネスは出会いから生まれる」をキーワードにして、これからも年輪を積み重ねた交流会として継続していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



《2017 年 3 月 定例会》

■日時 2017 年 3 月 14 日 (火) 18:30～20:20 懇親会 20:30～22:00

■場所 ビジネス&コミュニティ 横浜駅前オフィス セミナールーム
横浜市神奈川区鶴屋町 2-21-1 ダイヤビル 303

■プログラム

講演 「最近の金融行政・県内経済の動き」

財務事務所は、「地域の財務省・金融庁」です。事務所の様々な業務のうち、金融機関の「担保・保証に過度に依存しない融資」（事業性評価をもとにした融資）に向けた取組や、神奈川県内の景気動向などについて紹介させていただきます。

講師 財務省 関東財務局 横浜財務事務所 所長 伊藤美月様

■参加費

定例会 / 初回参加の方 無料、2回目・3回目 1,000 円、4回目以降 4,000 円

懇親会 / 初回参加の方 1,000 円、2回目以降 実費 (3,000 円程度)

異業種交流会シフト 21 とは

シフト 21 は平成 8 年から活動している異業種交流会です。

多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。

お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

第 74 回三浦半島経済人サロン

会員 平野和夫

1 月 18 日、神奈川新聞横須賀支社ビルで開かれ、初の試みとして、参加者は「かながわ産業 Navi 大賞 2016」特別賞を受賞した講師の齋藤秀一さん（居酒屋「やきとり竜馬におまかせ」店主）の話を聞いた後、講師が経営する居酒屋に移動、横須賀に縁のある坂本龍馬や中島三郎助など歴史上の人物を話題にしながら、お酒と焼き鳥を堪能しました。齋藤さんは歴史の話題と焼き鳥にこだわりを持つ店として固定客層の心を掴み、売り上げ増加に成功したと、評価され特別賞を受賞しました。



夢を語る齋藤社長

この日、齋藤さんは「地域の歴史資源と店のブランドのコラボによる新市場開拓」と題して講演、ユニークな手法で固定客層の心を掴んだ経緯を話しました。

中学生時代に見たテレビドラマ「3年B組金八先生」の武田鉄矢さんとの出会いが龍馬に関心を持ったきっかけ、から始まって、郵便局勤務から居酒屋開店への転職経緯、東京の焼き鳥道場・神奈川県チャレンジショップでの修行、2009 年 5 月 12 日開店、横須賀市お土産コンテスト参加（おりょうと龍馬の愛したカステイラ、龍馬と海舟の幕末牛鍋カレー）などについて詳細に話しました。

当初は龍馬中心でしたが、その後、中島三郎助を主人公にしたオリジナルソングの作成、居酒屋ライブの定期開催、浦賀の特産イワシを使った三郎助つくねの考案、歴史ウォーキングの開催、三郎助の本の出版など、飲食店の枠を超えた多角的な活動で新たな顧客を開拓しました。史跡巡りツアーも人気を呼んでいます。新聞、雑誌、テレビなどで取り上げられ話題になりました。参加者の有志は講演終了後、居酒屋で龍馬談議に加えて地元浦賀のヒーロー、中島三郎助の話題で盛り上がりました。



<その他ご案内>

<西湘サロン開催日及び会場変更のお知らせ>

今まで日本生命様をお借りして西湘サロンを行っていましたが借りられなくなります。
よって、5月度からは会場と日程の変更を行いますので皆様ご注意くださいませ。

今後のサロン開催日 : 原則第一火曜日となります。5月9日(火) 7月4日(火) 予定。
会場 : UMECO (おだわら市民活動センター、小田原駅のすぐ近く)

<セミナー開催のお知らせ>

タイトル : 日本農業の明るい未来に向けて ～農業経営の今後の課題と新たな動き～
日時 : 2017年2月27日(月) 15:00～17:00
場所 : 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター KIP14階 多目的ホール
講師 : 明治大学農学部(社会連携担当)教授 竹本 田持 氏
主催 : 神奈川県よろず支援拠点(実施機関:公益財団法人神奈川産業振興センター)
費用 : 無料
参加方法 : 事業所名、参加者名、電話、アドレスをご記入の上 FAX か Web にて申込。
FAX : 045-633-5194

	尾上町サロン	西湘サロン 第67回	海老名サロン 第38回	三浦半島経済人サロン 第75回
日程	3月03日(金) 18:00~20:30	03月13日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	02月24日 15:00~	日程調整中 18:00~ 開場は17:30~
場所	中小企業センター703 イグレン事務局	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術セン ター2F 講義室6 海老名市下今泉705-1	神奈川新聞社 横須賀 支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン	イグレン(吉池)	愛 賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内 容	参加費:1,000円 2月の尾上町サロンは ございません。	「海外留学をもっと身近 に！」East-West Study Abroad Inc. (East-West Canada Education Services Director/バンクーバー 支社代表 内藤 茜さん 参加費:1,000円	「中小企業にとっての デザインの持つ意味」 会費:2,000円	参加費:1,000円

先月、アメリカ大統領が予定通り正式に承認され、トランプ氏となりました。就任直後からスピード感を持って動いています。ビジネスマンの彼にとってこのスピード感は特に不思議ではないのでしょうか。就任100日もたたないうちに安倍総理と会見、ゴルフをするという事は世界に日米の連携を示した形になります。はたしてラウンド上でどのような話が交わされたのでしょうか？これぞ正に極秘事項です。産業面において貿易不均衡の話も飛び出しており、何か特別な事がない限りこの先の為替も上げ下げが比較的あるのかもしれませんが。企業にとってもこの先の行方が注目される所です。何か情報がありましたらお知らせください。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。
神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)
ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝
【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベーションルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com